夕刊
磐城新聞
三月四日發行
（日曜祭日翌日休刊）
定價 一部金五拾錢 月極金六拾錢 郵税共
廣告料 一段一行金拾錢 金六拾錢 五號十二字詰 一行金九拾錢 四段抜 一行金壱圓
編輯兼發行人 磐城新聞社 木村
印刷人 田部榮吉 東京市麻布区霞町十六番地
印刷所 磐城新聞社
登録年月日 大正七年三月廿五日 第三種郵便物認可 第二千三百五十六號

童話　ぢぞうさま

千葉省三

（下）

春ぁんなつて崖の上さ、新らしく學校が建つた。

どんたろ淵の土橋はそれといつしよに、がんぢやうな石橋にかけかへられた。道がひろがつて、ぢぞうさまのゐるぼさツかはみんな堀ツかへされた。

おれは、よしどみの木もらつてきて、庭のすみつこさいけといた。

ぢぞうさまは、しばらくぼさつたへ、おつころばされてゐたが、そのうち別んとこさ立てかへられた。

こんだ、たひらにならした赤土の上で、日當りのいいとこだつた。よだがけはみんなとつて捨てられて横つちよむいて、首も、まつすぐにこつち向きになほされた。

ぼさツかゞなくなつて、學校が建つと、どんたろ淵のあたりは、何だが明るくにぎやかんなつた。日が暮れてとほるのも、ちつともおつかなくなつた。崖の上の學校のガラス窓に、たそくまで灯がさして、だれだか、オルガンなんぞひいてゐた。

『ぢぞうさまも、こんだ、うれしかんべな』

なんて思ひながら、おれは毎日その前をとほつて學校さ通つた。

そのうち、おれは、へんなことに氣がついた。幾日たつてもだれもぢぞうさまに、よだがけかけてくれるもんがない。さう思ふとぢぞうさまも、なんだか、さびしげにしてゐるやうに見えて來た。

『ぢぞういわけだんべ。せんはあんなに、かけてやつたのに』

おれにはわかんなかつた。

おれは、こつそり、妹のよだがけ持ち出して來て、ぢぞうさまの首さゆはへつけてやつた。朝早くで、だれも見てゐなかつた。學校の門のところに立つて、ながめると、ぢぞうさまは桃色のよだがけかけこんで、とてもうれしげに、日なたぼつこしてゐる、おれは、何度も門のとこまで出て來て、ぢぞうさまをながめてひとりで笑つた。

次の日、おつ母ちやんにうんとしかられた。

『なんち、馬鹿！ぢぞうさまさ、よだがけあげんな、死んだ子のこんだべ、あんなことして、おやすが死ぎでもしたら、どうする氣だ』

おつ母ちやんは、宿に用達しに出た歸りに、なんの氣なしにぢぞうさまをがみながら、ひどく似たよだがけだと思つて、そばへよつて調べて見て、たまげたんだそうだ。おれは、悪いこつたと思つて胸がドキドキした。

その次の日、ぢぞうさまの胸んとこには、もう、よだがけがかかつてゐなかつた。

五六日して、どこの赤んぼのだか、こんだ、白いよだがけがかかつてゐた。

おれは、それを見るとなんだが氣がらくらくした。

時代警語

◇愚者は已れを智とし智者は我が愚を知る……（シエクスピア）

勝氣を男性的とすれば負惜みは女性的である。勝氣を智者とすれば負惜みは愚者である男子はたゞ勝氣あるべし勝氣なるものは終に大成する一歩である……

残寒生雪

古川信一

此の頃の寒さつづけば大方の北屋根になほ雪はのこれり

彼の山の雪の尾根下ろす寒風はつめたく我れの部屋を叩けり

葱に似ししることゝ呼べる菁物を亡き弟は殊に好めり

雪を割り我が妹子が塀りて持ち來たるしることを喰へば弟の思ほる

久々に君の便りを聞く宵は彼の雪の夜のわけて思へる

八百しほの潮の高鳴り地の底をおゆるがすかに夜の耳に入る

如月の滿目暗の夜空遠くほゆるが如く風の聲する

（一九三二、二、二九）

拈華微笑

安島兩頭

遠ら發聲映畫を見ず吁。悲哉

◇

寒心に堪えぬ郡下海兵志願者の健康。別なカンの字に直し度い

◇

人間の勝手さ。けふオーヴアーを邪魔扱ひする銀行角淺り安全燈下げた壯漢。

開庶時代が來そうになつた

◇

春回つて木華梢を飾るも山崎、

講談　俠艶　女長兵衛

東京　斯波南更（魚崎潮費）

（二五〇）

互に驚くのも無理はありません、其女は並木お勘でつなくて、長兵衛の劍道の師範花房權右衛門の後妻に參つたお樂でございました長兵衛から見れば謂はゞ敵の娘の片割れ此の女が在つたれば大體の長兵衛の用向きを察ごゞ師匠の權右衛門は殺されたのだ、現に手を下した方へ氣を配つて居る長兵衛の方が能く知つて居る女で無いから其儘乘て置いたが其後行衛を晦ましど處へ行つたか判らなかつたところ、又お樂は長兵衛が權右衛門の弟子で同が覗まれて居つたところ……』

が、斯う高飛車に出た。女長『手前は並木お勘殿に是非對面を得たく參つた、お言ひ淀んで、お樂と目を見留守なればと云つて又出直す譯にはならぬ、幸ひお知り合のお方がお出だとすれば都合が好い、御免を蒙つて暫時お待受け致す……』是通りお勘殿から留守を預つて武平殿も喜太郎も此方へ通るが宜しい』表の方へ向つて聲を掛けたから、松蔭武平が。兩人出した長『イヤ留守を預かつたお樂でございました長兵衛から見れば謂はゞ敵の娘の片割れ此の女が在つたれば大體の長兵衛の用向きを察ごゞ師匠の權右衛門は殺されたのだ、現に手を下した方へ氣を配つて居る長兵衛の方が能く知つて居る女で無いから其儘乘て置いたが其後行衛を晦ましど處へ行つたか判らなかつたところ、又お樂は長兵衛が權右衛門の弟子で同が覗まれて居つたところ……』

が、斯う高飛車に出た。女長『手前は並木お勘殿に是非對面を得たく參つた、お言ひ淀んで、お樂と目を見留守なればと云つて又出直す譯にはならぬ、幸ひお知り合のお方がお出だとすれば都合が好い、御免を蒙つて暫時お待受け致す……』是通りお勘殿から留守を預つて武平殿も喜太郎も此方へ通るが宜しい』表の方へ向つて聲を掛けたから、松蔭武平が。兩人出した長『イヤ留守を預かつたお樂でございました長兵衛から見れば謂はゞ敵の娘の片割れ此の女が在つたれば大體の長兵衛の用向きを察ごゞ師匠の權右衛門は殺されたのだ、現に手を下した方へ氣を配つて居る長兵衛の方が能く知つて居る女で無いから其儘乘て置いたが其後行衛を晦ましど處へ行つたか判らなかつたところ、又お樂は長兵衛が權右衛門の弟子で同が覗まれて居つたところ……』

本社の慰問に對する謝狀一束

128

滿洲からの我の猛擊に周章して逃げ惑ふ痛快な光景

八市入城直前の拂曉戰況 上

好間村出身　木村石三君

御陰様にて小生今回のハルビン戰闘にも幸悪なくしました。只今ハルビン市に宿營して居りますから他事乍ら御休神下さい。戰闘は二月四日午後三時より開始し

長春より九十里、數多の犧牲者を出しつつ北進目前にハルビン市を望みましたのは四日の正午頃でした、敵はハルビン市街を背後として堅固なる陣地を敷き反吉林軍一萬五千、皇軍○○○、○○は中央第一線として敵の主力に向ひ○聯隊は左一線○○聯隊は右一線として攻撃を開始しました。敵は珍しくも稀に見る

頑強なる抵抗を試み夜に至つて幾度か逆襲をなし又我が夜襲を恐れ猛射を續け敵は天嶮を利しての陣地とて之以上前進は困難にて殘念ながら拂曉を期して攻撃せん事を計劃し一晩中寒風の中に敵彈を浴びながら緊張と不安の夜を明しました。拂曉と共に戰闘は益々猛烈となり敵の撃出す砲彈は物凄き呻りを生じ我が陣地に落下し銃聲は

耳を聾し修羅場を現出し實に物慘く突然我○隊長は敵狀を熟視して居りましたが『敵は逆襲の模様であるぞ、準備怠りない様にせよ』の一語に我々の胸は躍り緊張致しました。敵は一齊射撃に移り物慘い銃聲恰も豆を煎る如く屋上から○隊鏡で見ると敵は土嚢を築き上げ一線に陣地を構へ天嶮を利してウヨウヨと眞黒に亂列して

撃つて居るではありませんか、敵は地の利を占め多勢を頼み小ざかしくも逆襲せんとする色が見え友軍と敵の距離は六七百米で我等歩兵○としては手ごろの距離で愈々活躍の時が來りの勝山勇(三)とねんごろになり夫や子を棄てて男と

御承知の通り目下ハルビンにて北滿警備の任に當り居ります、ハルビン占據し所ロシア全盛時代にコンヤブ築き上げてあつたモダンな兵營です、現在歩兵○○聯隊及歩兵○○聯隊と我が○○○○宿營して居りますと、そして毎日二三百人の苦力を使役して改修工事をして居ります。(後略)

山崎伍長安島上等兵二勇士の遺骨を迎ふ

八日午前十時半平驛著

名譽の戰死を遂げた飯野村線上り列車で到着するので山崎伍長並に山田村安島上平町では各團体、官公衙、町等兵兩勇士の遺骨は八日午民が驛頭に出迎へると前十時三十三分平驛着磐越

六分の五が不合格

石城の海兵檢査成績

平第三小學校で執行中の七中四十名が合格したのみで年度海兵檢査二日目成績は他は悉く篩ひ落された

受檢八十九名中十六名、三日目は三十六名中八名の合格で合計受檢二百四十一名中出征した二十五名の家族

出征組員家族慰問協議

平署管内消防組員

手をとり合つて京都に下りし驛の構内にて苦悶中驛員下京區坊城通り五條下る西浦昇方の二階を借りて愛の巣を營んでゐた事判明堀川署から迎への者に引渡さる

△失戀男が自殺　滋賀縣

△人妻愛人と駈落　東京府豊島郡尾久町字下尾久新澤武志の妻たま(三〇)は女學校卒業で教育もありまた四人の子までありながら出入進行中車中で劇藥四十グラ他十數ヶ所を滅多斬りにした、我々は幾度切歯扼腕せ

各地情痴

スーユニース

慰問其他に就き幹部間で目下寄々協議中である

運動部費調べ用

縣學務部では近來各中等學校に於ける各種運動競技の勃興から自然之に要する校友會費の嵩むのを考慮し之が參考に資する爲昨年の費用を調べた處磐女の對校試合に要したる分次の如くであると

陸上競技部三三圓、庭球三〇圓、籠球二七圓、排球四三圓以上、縣内試合一回計百三十三圓

校友會收入總額二、八八三圓六〇　生徒一人校友會費三圓六〇　去月現在在籍總數七六二人

平町外數村に亘る石炭試掘許可

磐炭外鎌倉の女性事業家へ

磐城炭鑛から申請中の平町飯野村地内九十七萬七千坪玉川、泉、磐崎、渡邊四村の百萬坪神奈川縣鎌倉町數江ひさ請申中の神谷平窪村六十八萬七千五百坪の石炭試堀は何れも許可された

澁川筋堤防復舊方陳情

植田町大字植田及び大字佐糠地内澁川筋堤防は昨年十月の水害に欠壊して流域田地五十八町歩に亘る灌漑用水取入設備は全部潰滅したので部民より復舊工事を其筋へ申請し昨年末認可あつたに拘はらず今尚ほ着工に至らぬので今年の挿秧に間に合はぬ様な事があつてはと地元代表蛭田秀次郎、永山百三の兩氏は昨三日所轄平土木監督所へ急速起工方を陳情する處あつた

在米十萬六千俵

三月一日現在平穀檢調査の三月一日現在郡下在米高は合計十萬六千二百五十九石で内警次の如し

地主	一五、六五一石
生産者	七九、七五〇
共同團体	三八一

巣立つ若き女性

磐女第二十回卒業生

百八十七名

磐城高等女學校第二十回卒業生次の如し

(五十音順○茶×花△弓修了者)

×赤塚豊子、○赤津マサ、×秋山ヒサ、○渥美花子、○阿部榮子、阿部せき、○阿部チヨ、○荒川サタ、×荒川フミ、○荒木ナオ、×猪狩イハホ、×猪狩智恵、×伊澤喜美子、×石川フミエ、石橋ミヨシ、×市原繁子、×稲垣ムメヨ、×飯田ヨシ、×宇佐見きく江、×江尻澄江、△○江尻千代子、江連杉子、×江名君子、×遠藤トシエ、×遠藤敏子、×岡田ミチ子、岡部スミ子、岡本テル子、○小谷ヨシ子、△小野テル子、×小野明子、小野二三四、大越こと、×大須賀キクエ、×大高なつ、×太田喜久子、×大谷セツ、○大塚サツ、△×大野ミサヲ、×大原コト、○大平壽美子、○大平美代子、大平ヨネ、○笠井ウタ、○風間カツ、○柏木雪子、×△香取綾子、×金成トシ、×金子ノジ、○神谷豊子、菊地さわ、×木田トシエ、草野アイ子、△×草野キミ子、○草野キミ、×草野キン、×桑島孝子、久保田せむ、×小齊茂、小島令子、木幡トラ、小林愛子、×白石キミ子、×白土キヨミ、白土光、菅波イエ、○菅波登美子、○菅波ゆき江、杉田智子、○鈴木綾子、鈴木カツ、×鈴木しげ、×鈴木セン、鈴木德子、鈴木姫子、鈴木ミツ子、×鈴木芳枝、△×鈴木芳江、×高木ミサオ、×高階コウ、×高橋マサ、×高橋キン子、×高柳富美子、×瀧高子、△千葉ユキ子、×塚本チヨ、○富岡愛子、×富永ふみ、豊田富久枝、長井ウメヨ、中手静枝、中野富子、○中野幸、○中村愛、直井キヨ、新妻尚子、○新妻幸子、×布川トヨ、×沼田貞子、○沼田紀、根本カツ、根本カネ、×根本須美、○根本トシ子、×野崎セイ、羽岡はじめ、×芳賀サクイ、×芳賀サクヨ、×芳賀トキ、×萩原敏子、○箱崎澄江、△×橋本ヒロシ、×長谷川喜美、×端山サト、×羽山ハルヨ、×端山文子、×榛澤操、×比佐清、△○比佐正子、△×比佐ユキ、古川ゆき子、○星野千代子、松崎セデ、×松井はる、×松田文子、×松本ツキエ、○三浦政子、水野ユキ子、峰口チヨ、○宮内トキ、×三輪カヲル、×村山みつ、○柳内マス、×山崎キヨ、山崎末代、○山崎チヨ、×山名酒子、△×湯山美佐枝、△吉田イツ、吉田キヨ、○吉田スミ子、吉田タツ子、×吉田千鶴、○吉田信子、吉田芳枝、×吉田カン子、○渡邊文、×渡邊カツ、×渡邊キミ、×渡邊貴代枝、渡邊スガ、×渡邊タミ、○渡邊チトセ、渡邊トメ、渡邊房江、×渡邊ミツ、×綿引壽子、×藁谷叶、×小林タケ子、小林文子、○小針梅、×齊藤健子、齊藤鈴江、×齊藤照代、×齊藤ミチ子、×酒井ミヨ、△佐川久子、×坂本サツエ、×鷲トク、×佐坂禮子、×佐々木シゲ子、佐藤セイ、×佐藤セツ子、×佐藤タニ、×佐藤ハルエ、△佐藤ミヨ子、×志賀照代、志賀禮子、○柴田磐、×篠山茂子、鹽末子、清水キヨ、×志村元子、×下山田チヨ

艶罪黑白

凍傷生激增

第三校で百卅名

三小學校凍傷患者は去月末現在で百一名重患十九名に上り一月末の約三倍に上つたが例年よりは五十名位少

輝かしい人生の春を何故の自殺ぞ？

四倉、久の濱間の轢死男

今曉五時頃四倉、久の濱間二十四、五歳位の運轉手か四倉町字中濱地内鐵道線路會社從業員で附近にオーヴに兩脚を轢斷された男の死アーと靴を脱ぎ揃へてあつた處から觀て覺悟の自殺らし

自宅の座敷に冷くなつてるを發見

胃痙レンの急死と判明

赤井村大字赤井字沼作五飲場新五郎(三八)が今四日午前八時頃自宅座敷で死亡して居るのを家人が發見大騒ぎとなつて駐在巡査に急報、平署から檢視官出張胃痙攣を起した結果と判明した

不便な場合あるが自衛上已むを得ぬ

磐女の電話取次ぎお斷り

磐城高女では從來各家庭及午後一時から平第一小學校緣邊保証人等の電話依頼に開催豫算決算を附議し町便宜を取計らつて來たが過般來女子の誘惑に爪牙を磨く一部の不良青年等が恰も親戚知己等を裝ひ不逞のこわ色を遣つて教職員を誑かし相手の歸途を擁して怖ろしい魔手を伸ばさんとした實例あり、幸に未然に察知して事無きを得たが、學校當局では將來とも之種寒心すべき新戦術によつてあたら處女を傷げんとする不良の跋扈跳梁する場合無きを保し難いに鑑み之が爲め往々登校中の子女に對する連絡を欠く不便ありとするも當局の立場として自衛上眞に止むを得ぬと云ふ見地から今後一切之種の電話を取次がぬ事に最近の職員會議で決定したと

會と人

ロロロロロ

郡教育會役員會　今四日平町田町一の井撞球場では

三人制撞球

十三日一の井で

ロロロロロ

母の日映畫會　平婦人會愛國婦人會の主催に係る明五日の母の日映畫會は聚樂館に於て尋常科男女二年より四年迄午前九時、五六年高等男午後零時、四年以上女午後二時の前後三回に亘つて開催されるロロロロロ

磐女軍事講演　磐城高女では來九日午前十一時から八谷磐中配屬將校の軍事講演を催すと

ロロロロロ

第一校童畫展　平第一小學校では來十五日王様商會第七回縣賞募集の兒童作品百二十點作家八點の展覽會を催す

小學兒童性能檢査

けふ第一校で

平第一小學校では卒業生の職業に對する智能が東京方面と比較して如何程の相違ありやを檢査し將來の參考に資する爲今回東京府少年職業相談所からA式智能檢査表を購入し今四日高等二年生に課する處あつた

十三日正午から三人制撞球カップ爭奪戰大會を開催するが試合はトーナメント式に依り源平三回戰で優賞者には大カップの外副賞を授與すると

盗んだ樂器を吹奏中捕はる

内郷村宮渡邊三郎(二六)假名―は一日正午頃磐城炭礦の音樂部に忍び入り價額六十圓のクラリネットを竊取し朗かな氣分で自宅で吹奏中平署員に引致された

平町慶弔錄

△婚

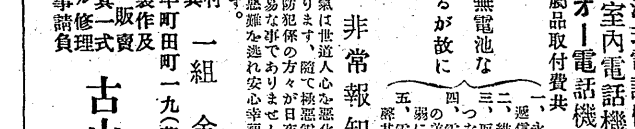
立町四八高久村下高久定田一矢部まこと(二六)田村郡夏井村和名中落合一三吉田ケサノ(二七)

▲死亡

古鍛治町三五橋本ハエ(五六)

四軒町二三あ部キサ(七五)

大町五東京市牛込區辨天町三安藤英保(二)



すまり居てし致ち待おをんさ皆へ揃取ももでん何具機キンデ

◎無電池式電話機　發明と室内電話機　一大革命

◎ゼーオー電話機（呼鈴兼用）　金二十八圓也

附屬品取付費共

一、遠信省電話と大差なし
二、永久に石を應用し廣量に於て
三、繼持經費を要せず永久使用に堪ふ
四、取付簡單、線なしでも左でも通話が出來る
五、電池式の如く長距離、近距離つなげば通話が出來る
五、電流により起る雜音を交へず肉
五、電流より起る雜音を交へず肉
五、弱くなりようの變る事なし
五、の差別なく何且つ電池の有無
五、により廣りようの變る事なし
五、火災盗難等の惡難を逃れ安心幸福を得られ平常は呼鈴として使用が出來ます。

附屬品取付費共　一組　金三圓二十錢也

平町田町一九（藤田女學校際）

古山電氣商會

五大特長の機本

無電池なるが故に

空氣利用呼鈴兼用　非常報知機

深刻なる不景氣は世道人心を惡化し强盗は横行し眞に恐怖時代の出現であります、隨て検惡鑑骨の犯罪を生み出す事頻々にして各警察防犯係の方々が日夜食を忘れ警戒なして下さいますが中々容易な事でありません、本器一個の備付によつて火災盗難等の惡難を逃れ安心幸福を得られ平常は呼鈴として使用が出來ます。

附屬品取付費共　一組

平町田町一九（藤田女學校際）

ラヂオ製作及附屬品販賣

電氣機具一式

モーター修理

電氣工事請負

縣下一手販賣店　星製藥磐城配給所

ホシチエーンストアー平支部

平町三丁目舊郵便局隣　電話四二九番

專門大家が畢生の苦心

絶對の『治淋藥』を完成强力の注射原藥を内服さす

リン病　消渇　間部淋藥

責任保証

同期にてウミいたみ、コシクある方は勿論ツマラン家傳藥危險な注入藥熱療器等に懲りた慢性患者は必ず此藥の卓越性を發けんす

淋菌は此の藥位强烈でないと死滅しない

（特長の一）此藥は性病び尿科の大家特に淋病消渇治療の權威東京銀座一間部醫院長間部かほる先生が畢生の研究の結晶なり

（特長の二）先生が病院で毎日患者に使用してゐる獨特の注しや原藥を主劑として之に洋藥淡藥の粹が配され殺菌力强大なり

（特長の三）服用後强烈な殺菌力を有する注しや原藥が全部尿に混り放尿毎に尿道粘膜下の深部の淋菌迄撲滅す

（特長の四）患者じ身の洗しよう注入は慢性やコツ丸炎又は婦人ならばうこうカタルになる恐ろしい危險があるが本劑はし然に内部から尿により洗しようされ菌を一掃するから絶對その心配がない

（特長の五）じよう劑の藥効が强いに絶對副作用なく安心して服める

【註文】は來訪カツセ振替代引でまうし込次第急みつ送す

【藥價】一週(輕症)參圓　悪性(五四)　送料十二錢

（各種有名賣藥アリ）

專門大家が畢生の苦心

絶對の『治淋藥』を完成强力の注射原藥を内服さす

リン病　消渇　間部淋藥

責任保証

同期にてウミいたみ、コシクある方は勿論ツマラン家傳藥危險な注入藥熱療器等に懲りた慢性患者は必ず此藥の卓越性を發けんす

淋菌は此の藥位强烈でないと死滅しない

（特長の一）此藥は性病び尿科の大家特に淋病消渇治療の權威東京銀座一間部醫院長間部かほる先生が畢生の研究の結晶なり

（特長の二）先生が病院で毎日患者に使用してゐる獨特の注しや原藥を主劑として之に洋藥淡藥の粹が配され殺菌力强大なり

（特長の三）服用後强烈な殺菌力を有する注しや原藥が全部尿に混り放尿毎に尿道粘膜下の深部の淋菌迄撲滅す

（特長の四）患者じ身の洗しよう注入は慢性やコツ丸炎又は婦人ならばうこうカタルになる恐ろしい危險があるが本劑はし然に内部から尿により洗しようされ菌を一掃するから絶對その心配がない

（特長の五）じよう劑の藥効が强いに絶對副作用なく安心して服める

【註文】は來訪カツセ振替代引でまうし込次第急みつ送す

【藥價】一週(輕症)參圓　悪性(五四)　送料十二錢

（各種有名賣藥アリ）

諸判定應需

東京市本郷區湯島四丁目五番地

高島易斷總本部　神鼎館

▲一白の人　人の落度が我が身に振りかかる日口入無用▲二黑の人　大望な企て手に餘る事あり分限を堅くせよ▲三碧の人　過ぎたるは及ばず情も仇となることあるべし▲四綠の人　努力次第にて手腕を揮ひ得る日親密亦肝要▲五黄の人　稼ぐに追付貧乏なし定業を勵めば利を増す▲六白の人　任重くして油斷のならぬ日努力次第にて吉▲七赤の人　近きを整へ遠きに及ぼすべき日自ら進展す▲八白の人　人を容るるのりやう無ければ邪魔の入り込む日▲九紫の人　守勢より攻勢に轉ずべき日追々と目的成る

舊土曜　一月二十九日　柳宿

三月五日　乙丑　大安　閉